

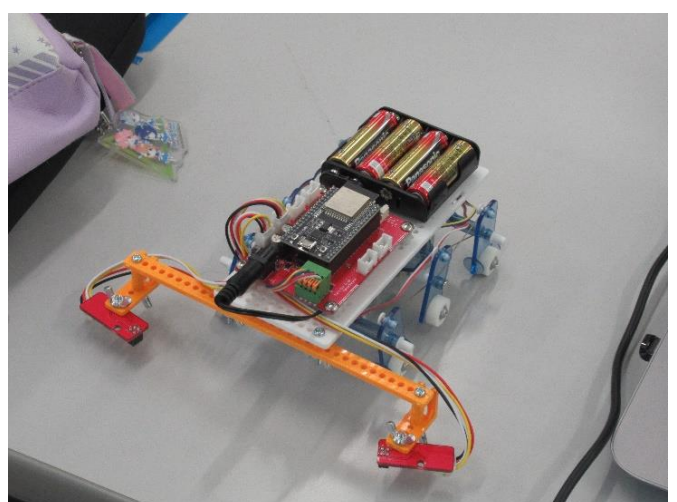
【「しまねの学力育成プロジェクト」松江高専出前講座を実施しました！】

○9月18日（水）

湖南中学校が研究指定を受けている「しまねの学力育成プロジェクト」の一環として、『松江高専出前講座』を実施しました。この事業は、青少年の理工学の興味促進のために、松江高専の先生方による授業を中学校に出向いていただいて行うというものです。今回は3年生が2つの講座から希望の講座を選んで、授業に参加しました。講座の1つ目は、「Matz 葉がにロボをプログラミングしよう」、2つ目は「地震や防災について学ぼう！～エッキーとぶるるの制作を通して～」でした。どちらの講座も松江高専の先生にご指導いただき、各研究室の学生の皆さんにお手伝いをいただきました。両方の講座とも、はじめに授業の内容について担当の先生から概要の説明を受けた後、色々な道具を使って実験をしたり、教材を組み立てる作業をしたりしました。授業中、生徒の皆さんの顔つきはイキイキとしていて、楽しそうでした。生徒の皆さんの中には、高専という学校の様子を直接感じる機会になり、進路選択の一助となった人もいたようでした。各授業の様子を少しだけ紹介します。

【 Matz 葉がにロボをプログラミングしよう 】

カニ型ロボットをプログラミングして製作し、事前に作ってあったコース通りに、カニロボットを進めることができるかどうかチャレンジする授業でした。その作業はなかなか難しかったようで、クリアできたペアは少なかったです。しかし、生徒はなかなかコース通りにいけないロボットに悪戦苦闘しながらも、プログラミングの数値を変えたりしながら何度も挑戦していました。うまくいくと喜んだり、うまくいかないと悔しがったりと一生懸命チャレンジしている姿が印象的でした。





【地震や防災について学ぼう！～エッキーとぶるるの制作を通して～】

地震による液状化現象の仕組みについて学習しました。具体的には、ペットボトルの中に、砂をとピンを入れて揺らすことで、密度の小さいものは浮いてくるということを学びました。この時、ピンが簡単に浮いてくことに興味津々の生徒の姿が見られました。その後、地下水があるところを想定し、ペットボトルに水を入れて、砂と水を揺らすことで液状化現象を再現していました。生徒は液状化現象が起こるメカニズムをこの実験から学んでいました。特に、水がある時とない時とで浮き方に違いがあることに興味をもって深く観察していました。



